

市町村における高齢者虐待対応に関する調査 《調査結果の概要》

1 地域ケア会議

地域ケア会議開催回数 (単位:回・市町村)

区 分	総開催回数	1～6	7～12	13～24	25以上	最大値
年間開催回数	413	30	17	0	3	50

2 相談人数

過去1年間に、高齢者虐待を主たる原因として相談を受けた市町村数は42市町村であり、持ち込まれた相談人数(実人員)は、総数で278人となっている。

3 虐待の内容

市町村に持ち込まれた相談人数 (単位:人)

区 分	身体的	心理的	性的	経済的	介護・世話の 放棄・放任	合 計
相談人数	135	105	2	87	101	430

注) 相談人数は実人数、種類別の人数については、1人が複数の虐待を受けている場合には、それぞれに計上している。

4 老人福祉法上の措置

老人福祉法上の措置を行った事例

(単位:件)

		該当措置を 行った市町村数	合計件数	最大値	最小値
やむを得ない措置					
特別養護老人 ホーム	虐待	2	2	1	0
	措置全体	3	8	6	0
短期入所者 生活介護	虐待	1	2	1	0
	措置全体	2	3	1	0
痴呆対応型共同 生活介護	虐待	0	0	0	0
	措置全体	0	0	0	0
その他	虐待	0	0	0	0
	措置全体	0	0	0	0
その他の措置					
養護老人ホーム	虐待	6	6	1	0
	措置全体	31	175	44	0
養護委託	虐待	0	0	0	0
	措置全体	0	0	0	0

5 市町村独自の取り組み

市町村独自の取り組み(複数回答)

区分	緊急対応型ショートステイ	相談窓口の設置	虐待対応のネットワーク化	市民への啓発活動	研修会等の実施	対応マニュアル作成	実態調査	その他	実市町村数
実施済み	0	4	1	3	2	0	2	3	8
準備中	7	10	5	3	7	4	8	0	24
予定なし									47

6 高齢者虐待対応のための専門チーム

専門チームの存在

「高齢者虐待」に対応するための機能を持った専門チーム（常設か随時開催かを問わず）が存在する市は1市のみとなっている。

専門チームのメンバー

専門チームの構成員については、保健福祉関連部署、在宅介護支援センター、介護保険居宅介護支援事業者、特別養護老人ホーム、介護療養型医療施設、医療機関、民生委員、人権擁護委員、自治会・町内会等の地域住民、警察、NPO・ボランティア団体となっている。